

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
国語 III (Japanese III)	担当教員	松田 信彦 (Matsuda, Nobuhiko) 小野 益夫 (Ono, Masuo)		
	教員室	松田: 一般科目棟 3 階 (TEL: 42-9042) 小野: 学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail	松田: n-matuda@kagoshima-ct.ac.jp 小野:		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
<p>〔本科目の目標〕 現代文・古典に関わらず、作品を的確に理解し、鑑賞力・思考力・批判力を高め、自己の言語生活及び教養を豊かにする。また日本語の基礎事項および表現法を修得し、自分の考えを適切に表現する知識・技能を養うとともに、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。また特に日本語をとおして日本文化を考えることも目的とする。</p>				
<p>〔本科目の位置付け〕 1 年次の「国語 I」、2 年次の「国語 II」における、現代文・古文・漢文・言語の既修事項を踏まえて、深い教養を身につけ、よりよい社会生活を送るために、国語の総合力をのばす科目である。4 年次の「日本語表現」へと発展する。</p>				
<p>〔学習上の留意点〕 本年度は、昨年度の教科書を引き続き使用し、さらなる作品理解に努めるだけでなく、総合的な国語力を高めるために、「パーフェクト演習」も使用して授業を進める。教科書のほか手持ちの国語便覧・国語辞典等を活用するとともに、日常生活の中での読書や新聞・テレビ・ラジオを視聴するときにも、常に自分の語彙力・表現力及び教養を豊かにする工夫をすること。</p>				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
【精選現代文】				
1. 評論「虚ろなまなざし」	8	<input type="checkbox"/> 段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を理解できる。 <input type="checkbox"/> 論理的な文章の構成を学び、論理の組み立て及び展開が理解できる。 <input type="checkbox"/> 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにできる。 <input type="checkbox"/> メディアの権力性ととも、メディアを批判する側の動機に潜む怖れを分析し、主体性の幻想とその問題について理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書の当該本文の音読をすること。
2. 小説「ころ」	10	<input type="checkbox"/> 長編小説の主題を、場面の展開や人物の性格・心理描写から読みとることができる。 <input type="checkbox"/> 作品に描き出された人物像を通して、人生についての考えを深めることができる。 <input type="checkbox"/> 文体や修辞などの、表現上の特色をとらえることができる。 <input type="checkbox"/> 作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを知ることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書の当該本文の音読をすること。
3. 俳句	4	<input type="checkbox"/> 俳句の基本的な修辞法（表現技法）を理解できる。 <input type="checkbox"/> 俳句に詠まれている内容や、俳人の心情を理解できる。 <input type="checkbox"/> 近現代の文学史において、それぞれの俳人を位置づけられる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書の当該本文の音読をすること。
【パーフェクト演習】				
4. 第一編	2	<input type="checkbox"/> 基礎的な語彙力の強化をはかり、日本語を正しく読み書きできる。	<input type="checkbox"/>	授業時に指示する。
【プラクティカル日本語】				
5. 第 II 部 文章作成の実践	4	<input type="checkbox"/> レポートや論文の最も基本的な型が理解できる。 <input type="checkbox"/> 型を上手に使う文章を書くことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業時に指示する。
10 章 レポート・論文の書き方				
---前期期末試験--- 試験答案の返却・解説	2	授業項目 1～4 について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を理解出来る。		
>>> 次頁へつづく >>>				

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン		
政治・経済 (Politics and Economics)	担当教員	林 良平 (Hayashi , Ryohei)		
	教員室	一般科目棟 3 階(Tel 42-9044)		
	E-Mail	hayashi@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 30 回			
〔本科目の目標〕 広い視野に立って, 民主主義の本質に関する理解を深めさせ, 現代における政治, 経済, 国際関係などについて客観的に理解させるとともに, それらに関する諸課題について主体的に考察させ, 公正な判断力を養い, 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる.				
〔本科目の位置付け〕 4 年次で学習する社会概説Ⅱ, 5 年次で学習する法学Ⅰ・Ⅱ, 経済学, 政治学の基礎となる分野を総合的に学習する.				
〔学習上の留意点〕 講義は, 配布するプリント スライド資料, 板書に従って行う. 主体的な取り組みと積極的な発言を歓迎する.				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 現代の経済				
(1) 経済学的な考え方	2	<input type="checkbox"/> 経済学の 5 つの主要な概念を理解できる.	<input type="checkbox"/>	経済学に関する入門書を読み, 概要を理解しておく.
(2) 需要と供給	2	<input type="checkbox"/> 需要と供給の法則を理解できる.	<input type="checkbox"/>	経済学では, 次の基礎数学を多用することから, 十分に習得しておくこと.
(3) 余剰	2	<input type="checkbox"/> 余剰分析の方法と意味を理解できる.	<input type="checkbox"/>	・直線と一次式
(4) 消費者行動	1	<input type="checkbox"/> 完全市場における消費者の行動を理解できる.	<input type="checkbox"/>	・放物線, 2 次関数, 最少最大
(5) 生産者行動	1	<input type="checkbox"/> 完全市場における生産者の行動を理解できる.	<input type="checkbox"/>	・分数関数, 平方根の関数
(6) 不完全競争市場	2	<input type="checkbox"/> 不完全競争市場における諸問題を理解できる.	<input type="checkbox"/>	・累乗と累乗根
(7) 市場の失敗	2	<input type="checkbox"/> 市場の失敗がおきる仕組みと政府の役割を理解できる.	<input type="checkbox"/>	・指数関数と対数関数
(8) 国際貿易	2	<input type="checkbox"/> リカードの比較生産費説を理解できる.	<input type="checkbox"/>	・微分法
-- 期末 (定期) 試験 -- 試験答案の返却・解説	1	項目 1-(1)~1-(8)について達成度を確認する. 試験答案の解説を行うことで, 間違えた部分を理解できる.		
(9) 総供給と総需要	1	<input type="checkbox"/> マクロ経済学における均衡概念を理解できる.	<input type="checkbox"/>	
(10) 財市場における乗数効果	1	<input type="checkbox"/> 乗数効果の意味を理解できる.	<input type="checkbox"/>	
(11) 投資関数と IS 曲線	1	<input type="checkbox"/> IS 曲線の意味を理解できる.	<input type="checkbox"/>	
(12) 貨幣市場と LM 曲線	1	<input type="checkbox"/> LM 曲線の意味を理解できる.	<input type="checkbox"/>	
(13) インフレと失業	1	<input type="checkbox"/> インフレと失業の諸問題を理解できる.	<input type="checkbox"/>	
(14) 経済成長と経済発展	1	<input type="checkbox"/> 経済成長率の計算方法と意味を理解できる.	<input type="checkbox"/>	
2. 現代の政治				
(1) 非協力ゼロサムゲーム	1	<input type="checkbox"/> ゲーム理論の基本概念を理解できる.	<input type="checkbox"/>	ゲーム理論に関する入門書を読み, 概要を理解しておく.
(2) 非協力ノンゼロサムゲーム	1	<input type="checkbox"/> クルーノー・ナッシュ均衡の概念を理解できる.	<input type="checkbox"/>	
(3) 囚人のジレンマ	1	<input type="checkbox"/> 囚人のジレンマを現実問題と関連させて理解できる.	<input type="checkbox"/>	
(4) 合理的なブタ	1	<input type="checkbox"/> 合理的なブタを現実問題と関連させて理解できる.	<input type="checkbox"/>	
(5) マッチング	1	<input type="checkbox"/> マッチングを現実問題と関連させて理解できる.	<input type="checkbox"/>	
(6) 水平思考	1	<input type="checkbox"/> 水平思考による問題解決の意義を理解できる.	<input type="checkbox"/>	
3. 現代社会の諸課題				
(1) 国際協力活動	1	<input type="checkbox"/> 国際協力活動の必要性和実態を理解できる.	<input type="checkbox"/>	新聞・テレビ等で報道される現代社会の諸課題に関する情報を収集しておく.
(2) 企業市民	1	<input type="checkbox"/> 企業活動の社会性を理解できる.	<input type="checkbox"/>	
-- 期末 (定期) 試験 -- 試験答案の返却・解説	1	項目 1-(9)~3-(2)について達成度を確認する. 試験答案の解説を行うことで, 間違えた部分を理解できる.		
〔教科書〕 なし				
〔参考書・補助教材〕 なし				
〔成績評価の基準〕 期末試験の平均 × 60%+ プレゼンテーション × 10%+ 小テスト × 30%				
〔本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連〕 1-a				
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕				
〔JABEE との関連〕				

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 前期 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
線形代数Ⅲ (Linear Algebra Ⅲ)	担当教員	白坂 繁 (Shirasaka, Shigeshi) 拜田 稔 (Haida, Minoru) 村上 浩 (Murakami, Hiroshi) 熊谷 博 (Kumagai, Hiroshi)		
	教員室	白坂: 図書館 2 階 (TEL: 42-9052) 拜田: 都市環境デザイン工学科棟 3 階 (TEL: 42-9051) 村上: 都市環境デザイン工学科棟 3 階 (TEL: 42-9046) 熊谷: 図書館 2 階 (TEL: 42-9048)		
	E-Mail	白坂: sirasaka@kagoshima-ct.ac.jp 拜田: haida@kagoshima-ct.ac.jp 村上: h_muraka@kagoshima-ct.ac.jp 熊谷: kumagai@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] (1) 平面における 1 次変換についての基本的事項を学び、回転など図形的な問題への応用を考える。 (2) 固有値、固有ベクトルについて学び、行列の対角化が行えるようにする。				
[本科目の位置付け] (1) 線形代数ⅠおよびⅡの知識を前提とする。 (2) 線形代数は、多くの分野で必須なものである。				
[学習上の留意点] 本科目は講義・演習形式で行う。以下の点に留意して学習すること。 (1) 教科書等を参考に予習を行い、講義に臨むこと。 (2) 受講後は要点をまとめ、問題演習を行い、学習内容の定着をはかること。 (3) 疑問点は質問を行い、後に残さないように心がけること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 1 次変換 ——前学期中間試験——	1 4	<input type="checkbox"/> 1 次変換の定義、性質が理解できる。 <input type="checkbox"/> 1 次変換による点や直線の像を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 1 次変換の積や逆変換を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 原点のまわりの回転を行列によって表すことができる。 授業項目 1. について達成度を確認する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p. 177 – p. 189 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
2. 行列の階数	4	<input type="checkbox"/> 行列の階数を求めることができる。掃き出し法によって連立 1 次方程式を解くことができる。	<input type="checkbox"/>	p. 219 – p. 223 の内容について、教科書を読んで内容を把握しておく。
3. 行列の固有値と対角化 ——前学期末試験——	1 0	<input type="checkbox"/> 行列の固有値、固有ベクトルを求め、対角化を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 直交行列による対称行列の対角化を行うことができる。 授業項目 2, 3. について達成度を確認する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p. 224 – p. 235 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を理解できる。		
[教科書] 新編 高専の数学 2 (第 2 版・新装版) 田代嘉宏・難波完爾 編 森北出版 [参考書・補助教材] 新編 高専の数学 2 問題集 (第 2 版) 田代嘉宏 編 森北出版				
[成績評価の基準] 中間試験、期末試験 (75%) + 課題、問題演習、小テスト (25%) — 授業態度 (上限 20%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 3 – a [教育プログラムの学習・教育目標との関連] [JABEE との関連]				

Memo

.....

.....

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次・前期・選択		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
微積分学Ⅲ (Calculus Ⅲ)	担当教員	白坂 繁 (Shirasaka, Shigeshi) 拜田 稔 (Haida, Minoru) 村上 浩 (Murakami, Hiroshi) 嶋根 紀仁 (Shimane, Norihito) 熊谷 博 (Kumagai, Hiroshi)		
	教員室	白坂教員室 図書館 2 階 (TEL: 42-9052) 拜田教員室 都市環境デザイン工学科棟 3F (TEL:42-9051) 村上教員室 都市環境デザイン工学科棟 3F (TEL:42-9046) 嶋根教員室 電気工学科棟 3 階 (TEL: 42-9047) 熊谷教員室 図書館 2 階 (TEL: 42-9048)		
	E-Mail	白坂: sirasaka 拜田: haida 村上: h_muraka 嶋根: shimane 熊谷: kumagai ※最後に@kagoshima-ct.ac.jp を付けて下さい。		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 (授業形式) / 履修科目 / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (180 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標]				
(1) 逆三角関数や媒介変数表示による関数の微分法と積分法を学ぶ。				
(2) 平面の極座標表示や関数の多項式近似について基本事項を学ぶ。				
(3) 定積分の応用として, 図形の面積, 体積, 曲線の長さについて学ぶ。				
[本科目の位置付け]				
(1) 数学基礎ⅠⅡⅢⅣ, 微積分学ⅠⅡ, 線形代数ⅠⅡの基礎知識を前提とする。				
(2) 微分法や積分法は自然科学や工学などの分野では基礎基本として扱われているので必ずそれらの概念を理解すること。				
[学習上の留意点]				
(1) 教科書を参考に予習を行うこと。授業に集中すること。				
(2) 受講後は問題集などで問題を解き, 具体的な問題の解法を身に着けること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. いろいろな関数の導関数				教科書
第 2 次導関数	2	<input type="checkbox"/> 第 2 次導関数が計算できる。	<input type="checkbox"/>	p.1-p.2 問題 1.2 は除外
曲線の凹凸	3	<input type="checkbox"/> 曲線の凹凸の意味が理解でき, グラフをかきことができる。	<input type="checkbox"/>	p.4-p.6 p.10-p.11
逆三角関数	2	<input type="checkbox"/> 逆三角関数の定義が理解できる。	<input type="checkbox"/>	p.8-p.9, p.11-p.13 問題 1.6 は除外
逆三角関数の導関数	2	<input type="checkbox"/> 逆関数や逆三角関数の導関数について理解できる。	<input type="checkbox"/>	p.13-p.15 問題 1.13 と例 1.8(2)
媒介変数方程式	2	<input type="checkbox"/> 媒介変数の意味が理解できる。	<input type="checkbox"/>	は除外
媒介変数の導関数	2	<input type="checkbox"/> 媒介変数の導関数が計算できる。	<input type="checkbox"/>	p.15-p.17 速度加速度は除外
極座標	2	<input type="checkbox"/> 極座標の定義が理解できる。	<input type="checkbox"/>	p.19-p.20
極方程式	2	<input type="checkbox"/> 極方程式について理解できる。	<input type="checkbox"/>	p.20-p.22
ロピタルの定理	1	<input type="checkbox"/> ロピタルの定理を用いて極限の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	p.27-p.29 例題 2.2 と問題 2.3 は除外
2. テイラーの定理				教科書
べき級数	1	<input type="checkbox"/> べき級数の収束, 発散について理解でき, 無限等比級数の和を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.31 例題 3.1 と問題 3.1 は除外
高次導関数	2	<input type="checkbox"/> 三角関数, 対数関数, 指数関数などの n 次導関数を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.33-p.35
1 次近似と 2 次近似	2	<input type="checkbox"/> 関数の 1 次近似と 2 次近似を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.35-p.37
テイラーの定理	2	<input type="checkbox"/> マクローリン展開が理解できる。	<input type="checkbox"/>	p.38-p.42
3. いろいろな関数の不定積分				教科書
主な関数の不定積分	2	<input type="checkbox"/> 主な関数の不定積分を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.46-p.51
分数関数の不定積分	2	<input type="checkbox"/> 分数関数の不定積分を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.52-p.54
三角関数を含んだ不定積分	1	<input type="checkbox"/> 三角関数を含んだ不定積分を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.54-p.55
— 中間試験 —		授業項目 1. 2. 3. に対して到達度を確認する。		
>>> 次頁へつづく >>>				

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 後期 ・ 選択		
	対象学科・専攻	機械工学科・電気電子工学科・電子制御工学科・情報工学科・都市環境デザイン工学科		
微積分学IV (Calculus IV)	担当教員	白坂 繁 (Shirasaka, Shigeshi) 拜田 稔 (Haida, Minoru) 村上 浩 (Murakami, Hiroshi) 嶋根 紀仁 (Shimane, Norihito) 熊谷 博 (Kumagai, Hiroshi)		
	教員室	白坂教員室 図書館 2 階 (TEL: 42-9052) 拜田教員室 都市環境デザイン工学科棟 3F (TEL:42-9051) 村上教員室 都市環境デザイン工学科棟 3F (TEL:42-9046) 嶋根教員室 一般教育科棟 3 階 (TEL: 42-9047) 熊谷教員室 図書館 2 階 (TEL: 42-9048)		
	E-Mail	白坂: sirasaka 拜田: haida 村上: h_muraka 嶋根: shimane 熊谷: kumagai ※最後に@kagoshima-ct.ac.jp を付けて下さい。		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 (授業形式) / 履修科目 / 1 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標]				
(1) 2 変数関数の偏微分や極値問題を学ぶ。 (2) 2 重積分の計算について基本事項を学ぶ。 (3) 1 階線形微分方程式や 2 階定数係数線形微分方程式の解法を学ぶ。				
[本科目の位置付け]				
(1) 数学基礎 I II III IV, 線形代数 I II, 微積分学 I II III の知識を前提とする。 (2) 2 変数関数の微分法や積分法は自然科学や工学などの分野で扱われているので, 基本事項は必ず理解すること。				
[学習上の留意点]				
(1) 教科書を参考に予習を行うこと。講義に集中して受講すること。 (2) 受講後は問題集などで問題を解き, 具体的な問題の解法を身に着けること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 偏導関数の応用 2 変数関数の極大・極小 陰関数の定理	3 1	<input type="checkbox"/> 2 変数関数の極大値・極小値を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 陰関数定理が理解でき, 陰関数の導関数を求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書 p.89—p.92 p.92—p.94
接線と法線	1	<input type="checkbox"/> 陰関数定理を用いて接線や法線の方程式を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.94—p.95
条件付き極大・極小	1	<input type="checkbox"/> ラグランジュの乗数法が理解でき, それを用いて極大値・極小値(または最大値・最小値)を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.96—p.98
2. 重積分 累次積分	2	<input type="checkbox"/> 2 重積分の定義が理解でき, 累次積分の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.99—p.101
積分順序の変更	1	<input type="checkbox"/> 積分順序を変更することができる。	<input type="checkbox"/>	p.101—p.104
体積	2	<input type="checkbox"/> 2 重積分を用いて体積を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.104—p.105
極座標による重積分	3	<input type="checkbox"/> 極座標を用いて, 2 重積分を計算することができる。	<input type="checkbox"/>	p.105—p.107
— 中間試験 —		授業項目 1. 2. に対して到達度を確認する。		
>>> 次頁へつづく >>>				

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 後期 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
確率・統計 (Probability & Statistics)	担当教員	MES: 嶋根 紀仁 (Shimane, Norihito) IC: 白坂 繁 (Shirasaka, Shigeshi)		
	教員室	嶋根: 一般科目棟 3 階 (TEL: 42-9047) 白坂: 図書館 2 階 (TEL: 42-9052)		
	E-Mail	嶋根: shimane 白坂: sirasaka ※最後に@kagoshima-ct.ac.jp を付けて下さい。		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標]				
(1) 確率に関する基本的な概念や法則について理解を深める (2) 統計的な見方や考え方に関する能力を養う				
[本科目の位置付け]				
(1) 数学基礎 I, II, 微積分学 I, II で学んだ内容を前提とする (2) 確率・統計は工学全般, 経済学, 社会学などの分野において必須なものとして位置づけられる				
[学習上の留意点]				
問題演習を十分に行い, 確率・統計に関する演算の定着をはかること				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 確率	14	<input type="checkbox"/> 確率の定義や性質を理解し, 基本的な問題が解ける <input type="checkbox"/> 事象の独立や条件つき確率の概念を理解し, 基本的な問題が解ける	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書 P1~P25 を読み, 概要を把握しておく
—— 後学期中間試験 ——		授業項目 1 について達成度を確認する		
2. データの整理	8	<input type="checkbox"/> 1次元のデータについて平均, 分散, 標準偏差を求めることができる <input type="checkbox"/> 2次元のデータについて相関係数や回帰直線の方程式を求めることができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書 P27~P49 を読み, 概要を把握しておく
3. 確率変数と確率分布	6	<input type="checkbox"/> 与えられた確率分布の平均, 分散, 標準偏差を求めることができる <input type="checkbox"/> 正規分布表を利用して確率を求めることができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書 P51~56, P59~P68, P71 を読み, 概要を把握しておく
—— 後学期末試験 ——		授業項目 2, 3 について達成度を確認する		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を理解できる		
[教科書] 新訂 確率統計 斎藤 斉 他 大日本図書				
[参考書・補助教材]				
[成績評価の基準] 中間・期末試験 (70 点) + {問題演習-(授業態度+欠席状況)} (30 点)				
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 3-a				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEE との関連]				

Memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

平成25年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
保健体育 (Physical Education)	担当教員	山崎 亨 (Yamasaki, Toru) 北菌 裕一 (Kitazono, Yuichi) 堂園 一 (Douzono, Hajime)		
	教員室	体育館2階 (TEL&FAX: 42-9065 または 42-9066)		
	E-Mail	kitazono@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・実習 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 30回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 運動の合理的な実践と健康についての基礎的な事項について科学的な理解を深め, これらに基づいて自ら進んで積極的なスポーツ活動への参加と, 健康の保持増進に関する問題を解決する能力を養う。				
[本科目の位置付け] 心身共に健康な技術者としての身体の基礎づくり。体育・スポーツ活動の実践を通して, 相手の立場に立ってものを考え, グローバルに活躍できる人間性の育成。				
[学習上の留意点] 教科書「高専の健康科学」及び参考書「アクティブスポーツ」の授業に関連するところを読み理解すること。実技においては, 教材 (運動場・体育館) を考えて正しい服装と, 体育用具等の管理, 安全に十分留意すること。				
[授業の内容]				
授業項目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. オリエンテーション	2	<input type="checkbox"/> (1) 選択制授業のガイダンスを理解することができる。 <input type="checkbox"/> (2) AED(自動体外式除細動器)の取り扱い方法と一次救命処置が理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	参考書「アクティブスポーツ」による
2. スポーツテスト	6	<input type="checkbox"/> (1) 運動能力テストと体力診断テストを実施し, 自己評価ができる。	<input type="checkbox"/>	
注) 選択制12: 授業項目3~12については, 各種目12時限をワンセットとして, 種目選択の機会を4回設定する。従事時間合計48時限 (=12時限×4種目)。				
3. バレーボール	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) パス, スパイク, サービスができる。 <input type="checkbox"/> (2) 1・5 フォーメーションゲーム, 審判を行うことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	P187-P207の内容について, 参考書「アクティブスポーツ」を読んでルール等確認しておく。
4. テニス	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術練習: グリップ, ラケットワーク, ストローク, サービス, ネットプレイ <input type="checkbox"/> (2) ゲームの進め方, 審判法, ゲーム(シングル, ダブルス)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	P209-P218の内容について, 正規のシングルス, ダブルスの戦術的理解とゲームの進め方を理解しておく。
5. ソフトテニス	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能: ストローク, サービス, ボレーができる。 <input type="checkbox"/> (2) 雁行陣・平行陣のゲームができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	P219-P228の内容について, 正式なルールにより, ペアで作戦を立ててのゲームを理解しておく。
6. ソフトボール	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能の復習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) ゲーム, 審判を行うことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	P249-P260の内容について, 特にチームプレイの徹底を理解しておく。
7. ゴルフ	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) クラブの種類と構造, 握り方を理解できる。 <input type="checkbox"/> (2) スイングの基本と練習ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	P261-P266の内容について, 特にプレイ上のエチケットとマナーを理解しておく。
8. サッカー	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術及びシュート練習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) 4・3・3 システムフォーメーションの理解とゲーム, 審判を行うことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	P143-P166の内容について, 特にゲームスタイルの変遷を理解しゲームに応用できるようにしておく。
>>> 次頁へつづく >>>				

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英 語 III (English III)	担当教員	あべ松 伸二 (Abematsu, Shinji)		
	教員室	あべ松 : 図書館 2 階 (TEL : 0995-42-9059)		
	E-Mail	あべ松 : abematu@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 1,2 年次の学習効果を踏まえ、聞く・話す・読む・書くの 4 技能の習熟に努めながら、総合的な英語力育成を目指す。教材中の様々な問題に触れることにより、考える力や表現力の向上を目指す。				
[本科目の位置付け] 語彙・文法等の基礎知識の定着を図り、読解力や聴解力を強化する。 授業項目、達成目標、学習内容について英文法 III と連携をとりながら進めていく。				
[学習上の留意点] 英和辞典を持参すること。予習・復習を十分に行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。 重要事項は、必ずノートに書き留めること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 現在分詞を用いた分詞構文 2. 過去分詞を用いた分詞構文 3. SVOC (C=過去分詞) 4. 聞く/話す/読む/書くこと --- 前期中間試験 ---	4 4 4 2	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて理解し、考えることができる。 <input type="checkbox"/> 文法項目について理解し正しく使用することができる。 <input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図を理解して、音声・文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書本文をノートに写す。新出語彙・文法を辞書で調べ、書いて覚える。演習問題を解く。単語集の語句を書いて覚える。音読の練習をする。600 選の英文を暗唱する。
5. 前置詞+関係代名詞 6. 関係詞の非制限用法 7. 現在/過去完了進行形 8. 聞く/話す/読む/書くこと --- 前期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	5 5 4 2	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて理解し、考えることができる。 <input type="checkbox"/> 文法項目について理解し正しく使用することができる。 <input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図を理解して、音声・文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
9. if 節 10. 仮定法過去 11. 仮定法過去完了、強調後文 12. 聞く/話す/読む/書くこと --- 後期中間試験 ---	6 4 4	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて理解し、考えることができる。 <input type="checkbox"/> 文法項目について理解し正しく使用することができる。 <input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図を理解して、音声・文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	G-Tec Reading Test
13. It ~that / whether 節 14. 聞く/話す/読む/書くこと --- 後期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	8 6 2	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて理解し、考えることができる。 <input type="checkbox"/> 文法項目について理解し正しく使用することができる。 <input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図を理解して、音声・文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
[教科書]	EXCEED English Series II New Edition (三省堂)			
[参考書・補助教材]	EXCEED English Course Series II New Editionワークブック 英作基本文例 600、SEED 総合英語(文英堂)			
[成績評価の基準]	中間及び期末試験成績(60%) + 小テスト・レポート等(40%) - 授業態度(上限 20%)			
[本科(準学士課程)の学習・教育目標との関連]	2-b			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEE との関連]				

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英 文 法 III (English Grammar III)	担当教員	鞍掛 哲治 (Kurakake, Tetsuharu)		
	教員室	図書棟 2 階 (TEL : 42-9058)		
	E-Mail	kurakake@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 英語コミュニケーション能力に必要な基礎的英文法の知識を習得する。ドリルを通してより多くの問題に触れ、英文を正確に読み書きできることを目標とする。特に、ライティングは習得した英文法の知識を駆使して、100 語～200 語の 1 パラグラフのエッセイを書くことができることを目標とする。				
[本科目の位置付け] 本科目は英文法 I、II を復習しながら、より発展させた内容を扱う。また、英語 II の文法事項を解説し、演習を行う。英語のエッセイライティングの基礎を習得する。				
[学習上の留意点] 英文法 I、II で既習の英文法についての一般的な知識が必要です。また、英語の基礎的言語能力を養うためには反復が必要なので、ドリルを厭わず積極的な態度で学習することが臨まれます。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. Unit01-05 --- 前学期中間試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	<input type="checkbox"/> 動詞、京葉日、名詞の用法を理解できる。 <input type="checkbox"/> トピック、スキミングについて理解ができる。 授業項目 1 について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を理解出来る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	pp.10-27 の内容について、教科書を読み、概要を把握する。
2. Unit06-10 --- 前学期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	<input type="checkbox"/> 動詞、形容詞、副詞、前置詞の用法を理解できる。 <input type="checkbox"/> スキミングについて理解できる。 授業項目 2 について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を理解出来る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	pp.30-47 の内容について、教科書を読み、概要を把握する。
3. Essay Writing --- 後学期中間試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	<input type="checkbox"/> パラグラフとは何か、その構成について理解できる。 <input type="checkbox"/> パラグラフのいくつかのパターンを理解できる。 <input type="checkbox"/> 1 パラグラフのエッセイを書くことができる。 授業項目 3 について達成度を確認する。(G-TEC) 試験採点者のフィードバックを理解出来る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	配布されたプリントを読み、概要を把握する。
4. Unit11-15 TOEIC Bridge 模擬試験 --- 後学期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	<input type="checkbox"/> 語順、準動詞、関係詞、接続詞について理解できる。 <input type="checkbox"/> スキミングをすることが理解できる。 <input type="checkbox"/> TOEIC Bridge の出題内容・形式を正しく理解できる。 授業項目 4 について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を理解出来る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	pp.50-67 の内容について、教科書を読み、概要を把握する。
[教科書] TOEIC Bridge: Training Tips 高山芳樹 南雲堂				
[参考書・補助教材] 改定新版英作基礎文例 600 啓隆社 UPO-NET オンライン教材 G-TEC for Students				
[成績評価の基準] 定期試験(中間試験および期末試験)の成績 (60%) + 小テスト及びレポート成績 (40%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 2-b				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEE との関連]				

Memo

平成 25 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 後期 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英語演習Ⅲ (Language Laboratory Ⅲ)	担当教員	嵯峨原 昭次 (Sagahara, Shoji) 松元 貴子 (Matsumoto, Takako)		
	教員室	嵯峨原: 図書館 2 階 (TEL: 42-9062) 松元: 学生共通棟 1 階 非常勤講師研究室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail	嵯峨原: sagahara@kagoshima-ct.ac.jp 松元: tako1116@ezweb.ne.jp / takakom116@hotmail.co.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 国際的に通用する英語コミュニケーション能力に必要な英語での会話能力を習得する。				
[本科目の位置付け] 1 年次の英語演習Ⅰ、2 年次の英語演習Ⅱで習得した英語発音 (ハミング 8 メソッド) を復習し正しい英語発音を持続させながら、リスニング能力・スピーキング能力を向上させて、英会話の能力を高める。				
[学習上の留意点] ① 1・2 年次の英語演習で習得したハミング 8 メソッドの練習を続けて更なる定着を目指す。 ② リスニングの問題集を利用してリスニングの演習を行う。 ③ 英会話表現復習テストに備えて学習すること。 ④ 評価のほとんどは実践的な活動で評価するので、特に授業中の演習や実践テストに真剣に取り組むこと。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1) 後期中間試験前まで ① Pronunciation (英文レベル) ② Speech (Dialogue), Speaking ③ Listening ④ 表現 (場面)	1 4	<input type="checkbox"/> ① 英文を正しい発音で読める。 <input type="checkbox"/> ② 英語で相手と対話を発表できる。英語で言いたいことを話すことができる。 <input type="checkbox"/> ③ 専用リスニングテキストを活用して、準 2 級リスニングレベルの問題がほぼ完全に理解できる。2 級リスニングレベルの問題も一部理解できる。 <input type="checkbox"/> ④ 場面ごとの英語表現が理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	① 指定された英文の読みの練習をしておくこと。 ② 対話原稿を練習しておくこと ④ 教科書の指定されたところを学習して復習テストに備えること。
2) 後期期末試験前まで ① Pronunciation (英文レベル) ② Speech (Dialogue), Speaking ③ Listening ④ 表現 (場面)	1 4	<input type="checkbox"/> ① 英文を正しい発音で読める。 <input type="checkbox"/> ② 英語で相手と対話を発表できる。英語で言いたいことを話すことができる。 <input type="checkbox"/> ③ 専用リスニングテキストを活用して、準 2 級リスニングレベルの問題がほぼ完全に理解できる。2 級リスニングレベルの問題も一部理解できる。 <input type="checkbox"/> ④ 場面ごとの英語表現が理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	① 指定された英文の読みの練習をしておくこと。 ② 対話の原稿を練習しておくこと。 ④ 教科書の指定されたところを学習して復習テストに備えること。
— 後期期末試験 —		授業項目①～④について達成度を確認する(実践テスト)		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解できる。		
[教科書] はちの発音 ハミングメソッド 大庭まゆみ著 ハミングバード Voice リスニングスキルアップテスト 15 minutes 野村和宏著 第一学習社 まると使える旅行英会話ミニフレーズ 高橋朋子 アルク				
[参考書・補助教材] はちの発音副教材、リスニング教材、ビデオ教材、プリント教材				
[成績評価の基準] 期末試験 (30%) + 授業中の実践テスト、授業中の演習、宿題、レポート (70%)				
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 2-b [教育プログラムの学習・教育目標との関連] [JABEE との関連]				

Memo